

令和3年度ダイオキシン類環境調査結果をお知らせします

市では、一般環境中のダイオキシン類の汚染状態を総合的に把握するため環境調査を実施しています。このたび、令和3年度の市内における大気、河川水質、河川底質、地下水、土壌のダイオキシン類環境調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

《大 気》

市役所屋上にて調査を実施したところ、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/m³)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和3年5月25日～6月1日	市役所第二庁舎屋上	0.018	年間平均で 0.6pg-TEQ/m ³ 以下
令和3年7月13日～20日	〃	0.015	
令和3年10月12日～19日	〃	0.015	
令和4年1月11日～18日	〃	0.044	
年 間 平 均 値		0.023	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る大気環境測定マニュアル」(平成20年3月改定 環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)に準拠

《河川水質》

市内の代表的な河川の水質について調査を実施したところ、大落古利根川及び元荒川については、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。新方川及び綾瀬川については、年平均値で環境基準を上回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査地点	調査年月日	令和3年	令和3年	令和3年	令和4年	年平均	環境基準
		4月26日	8月6日	11月4日	1月18日 21日		
新方川	昭和橋	2.2	3.6	0.96	0.53	1.8	年間平均で 1pg-TEQ/L 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	1.1	2.3	0.80	0.30	1.1	
大落古利根川	ふれあい橋	0.36	0.42	0.40	0.26	0.36	
元荒川	中島橋	—	—	0.87	—	0.87	

注) 測定は、「日本産業規格K0312(工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法)」に準拠

《河川底質》

市内の代表的な河川の底質について調査を実施したところ、全調査地点において環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査地点	調査年月日	令和3年 11月4日	環境基準
新方川	昭和橋	8.5	150pg-TEQ/g 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	2.9	
大落古利根川	ふれあい橋	2.5	
元荒川	中島橋	1.9	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」(平成21年3月環境省水・大気環境局水環境課)に準拠

《地下水》

今年度は、市内1地点で地下水の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和3年 11月26日	大成町八丁目	0.014	1pg-TEQ/L 以下

注) 測定は、「日本産業規格K0312(工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法)」に準拠

《土壌》

今年度は、市内1地点で土壌の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
令和3年 12月14日	川柳町四丁目	7.8	1,000pg-TEQ/g 以下

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」(平成21年3月環境省水・大気環境局土壌環境課)に準拠

《今後の取り組み》

令和3年度に実施した河川水質の測定において、新方川及び綾瀬川が年平均値で環境基準を上回ったため、令和4年度(2022年度)も年に4回の測定を実施する等、一般環境中のダイオキシン類のモニタリングを実施すると共に、他関係機関との連携を図り、情報の収集に努めてまいります。

〈問い合わせ先〉 環境政策課
電話 963-9186(直通)